

## 聖霊よ、私たちはあなたの前に立っています

「Adsumus Sancte Spiritus」

シバスのための祈り

(シバス第1会期 ローマ 2023年10月4-29日)

聖霊よ、  
わたしたちは あなたの前に立ち、あなたのみ名によって集います。  
わたしたちのもとに来て、とどまり、一人ひとりの心にお住みください。  
わたしたちに進むべき道を示し、どのように歩めばよいか教えてください。  
弱く、罪深いわたしたちが、一致を乱さないよう支えてください。  
わたしたちが無知によって誤った道に引き込まれず、  
偏見に惑わされないよう導いてください。  
わたしたちがあなたのもとに一致することができるよう。  
わたしたちが永遠のいのちへの旅を続け、真理と正義の道を迷わずに  
歩むことができますように。このすべてを、いつどこにおいても  
働いておられるあなたに願います。  
御父と御子の交わりの中で、世々とこしえに。アーメン。



ともに歩む教会の心構え

## 4

## 宣教は 燃える心 踏み出す足

(ルカ 24. 13-35)

### Step 4: 信仰と互い愛の連帯にゆだねられたキリストの愛の実践

「わたしたちへのキリストの愛が、わたしたちのキリストへの愛を呼び起こし、駆り立て、かきたてるのです。キリストの福音をのべ伝える使命をもって成員がこぞって出向いて行く、いつも若々しい教会を作るのです。祈りや行動で、献金や犠牲を差し出すことで、だれもがこの宣教運動に貢献できるはずで、教皇庁宣教事業は、こうした宣教協力を霊的・物質的に支援することに特化した機関です。このために、『「世界宣教の日」の献金は教皇庁信仰弘布事業へと送られます」 (2023年「世界宣教の日」メッセージより)

### 世界宣教の日



全世界の福音宣教に思いをはせながら、祈りの旅を続けましょう。今週はヨーロッパ大陸のために祈りましょう。

主よ、  
たくさんの宣教師の誕生の地であるヨーロッパ大陸にあなたの聖霊を注いでください。世俗化が進んでいる現代社会の諸問題を前に教皇フランシスコに導かれて、創造的な愛で新たにされますように。アーメン。

CHARITY

## 使徒たちの宣教の出発

「イエスは十二人を任命された。それは彼らを自分のそばに置くため、また派遣して宣教させるためであった」(マルコ 3・14)。

イエスにとって、「そばに置くことのない派遣」はありえず、「派遣せずただそばに置くこと」もありません。

そばに置くことのない派遣はありえません。福音宣教は、主との出会いから生まれ、すべてのキリスト教的活動、特に福音宣教は、ここから始まります。主に留まらない人はだれも、福音をあかすることはできません。アイデアは持ってくるかもしれませんが、福音ではありません。

「派遣なしにそばに置くこと」もありません。福音書を読むと、主が弟子たちの準備が完全に整うまで待たずに、弟子たちを派遣していることに気づきます。弟子たちを呼び寄せた直後に、派遣なさっています。

最終的には、共同体としてともに歩むのです。主は、すべての弟子たちを派遣されますが、だれも一人で派遣されません。使徒的教会は、完全に福音宣教を行うものですが、その中で一致を見出します。ですから、出て行き、柔和で、小羊のようであり、俗世に染まらず、そしてともに歩む。これが福音宣教の鍵で、宣教を成功へと導く鍵です。

教皇フランシスコ 2023年2月15日 一般謁見演説より



## 主日の福音から黙想のヒント

「皇帝のものは皇帝に、  
神のものは神に返しなさい」(マタイ 22.21)



人間のあらゆる営みが  
御父の愛の御国に方向づけられること、  
これが 宣教者が目指す最終目的です。  
福音の光があまねく広がるのを望み、祈り、  
実現に向かって共同体として働きます。

### ともに祈りましょう (共同祈願)

- ☆ 力を合わせて行われる教会の慈善事業がいつも  
主の慈しみの現れでありますように。
- ☆ 全世界で行われている司祭の召し出しの育成に  
キリスト者の物質的および霊的な援助が欠く  
ことがありませんように。



### 宣教のロザリオ

ヨーロッパのために  
ロザリオの一連を  
唱えましょう

